

昭和38年10月8日発行
横浜市港北区青砥町609小川方
P.H.C 横浜支部
編集 小川龍利

ニュース

第83回支部山行

御坂山塊

11月10日（前夜発日帰り）

（コース） 新宿➡河口湖—御坂トンネル入口—御坂山—旧御坂峠—黒岳—中ノ頭山—大石峠—長浜—河口湖➡横浜
(一般向 歩程約6時間)

（費用） 約1,200円

（打合せ） 11月1日(金) 小町ダンゴ 19時より

（係） 中山一重

横浜市中区伊勢佐木町2-45 Tel(68)0353

（地図） 5万分の1 都留

よほビシーズンをはずさぬと難能する三ツ峠山にくらべ、御坂山塊は展望も劣らず、又静かな山歩きを楽しめる。一面の紅葉と落葉、のんびり秋の山旅を味わいながら歩くつもりです。富士への展望、遠く南アルプスの山々、眼下には河口湖と、きっと満足の行く山行だと思います。時間が余ったうれば湖でボートなどでも乗って一時を過したいと思います。

定例集会

11月12日(オ2火)

18時00分より 於婦人会館

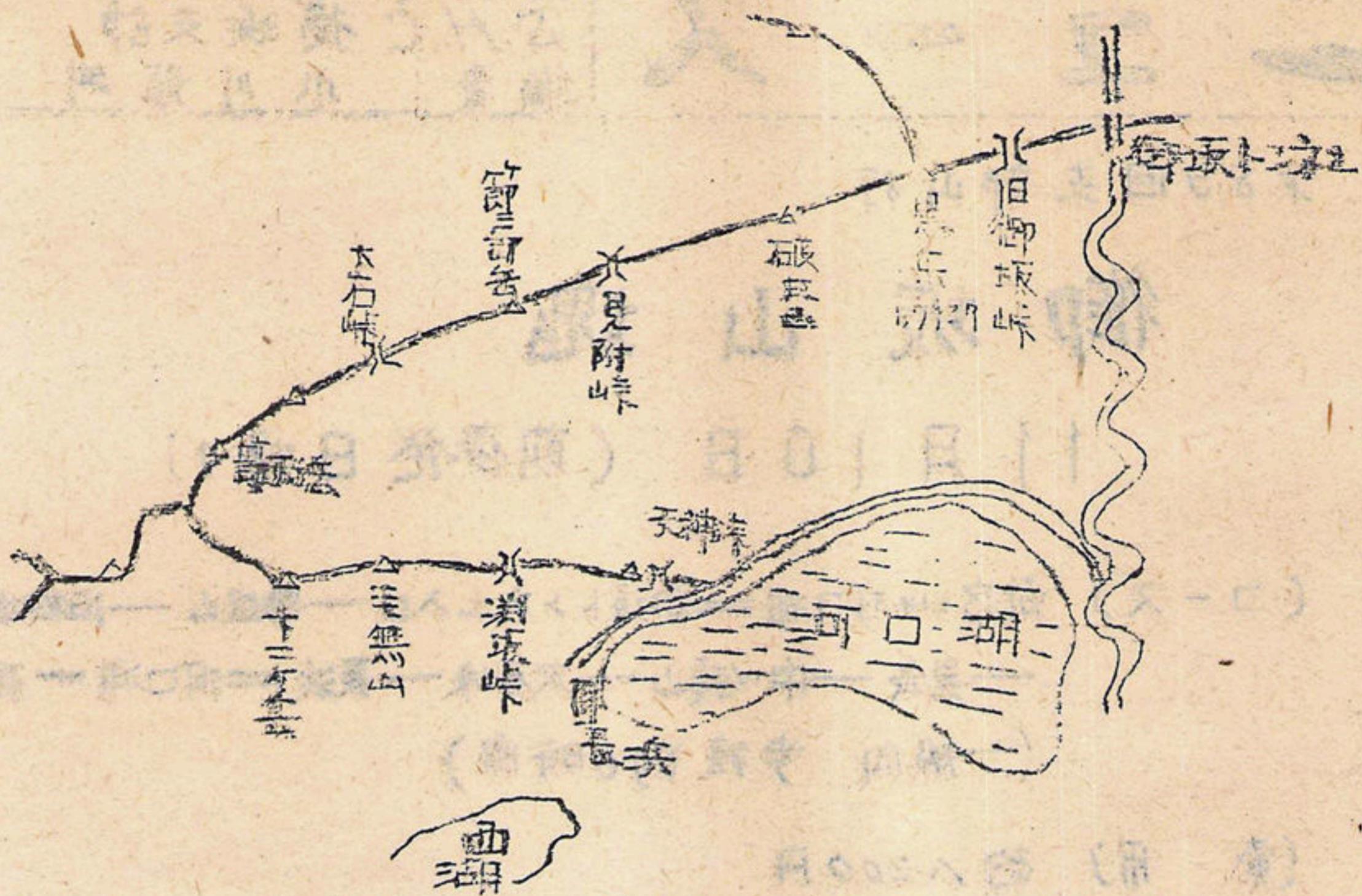
議題 フラフに対する意見

準例会

10月23日(オ4木)

19時00分

於 小町ダンゴ



山行報告
方31回山行 お月見(9月8日)

参加者 山小川龍司

斎藤清 落合正次 水野理保
松村國男 鶴野昌 道井國男
平野清子 宮本一重 金子スエ子
佐久麻子 斎田穂子

コースタイム 総走(130.5km)中山峠水
場(1.30.5-133)水無峠(6.00-6.50)
鍋割コシツバカ沢(セトミ)西瀬峠(セミ五八)
立鳩川林道(10.0-13.5)玄蕃

ときたま雲間より顔を覗かせる月、お月見セ
云うのがはずかしい纏な天候だ。

夜道はやは生々しく、予定よりはるか下り
氷禰次出合でお月見の事。其々の心情を察し
てか、月もすよつび月顔を覗みてくれた。

用事のある三名、一人とも下山、残りの九

腹を巻きながら立る。右手に見之る老壁兩邊
獻ざりか？

鍋割コニツバの沢を養切り、筋山跡近く沢
を二ヶ所横斷する。夜道では廻遊へゆすい這
き所だ。

兩山跡、全然人跡無らず、苔草標がボタン
とかびしく立つてゐる。

雨晴歌の右岸につづら廻を道を玄倉川の川
岸へ下る。朝食を跡壇付を取る所走王つたの
にどう廻走つか跡壇がない。しむたがない。4新入会員との親睦を計るため新入歓迎山行
のでジヤガイモの盛りでが轟奉上る。

山行の程度をひらく。初級、中級、上級と
いう種々バラエティに組んで行く
今年之四回の会員を行ふ。奥山及スキーリング
3、毎一回位の過累と山歩き
を行ふ。

玄倉川に沿つて廻走を下る。同音歌に沿く
のバーティが入つて行く。仏岩のトンネルは
真暗闇、ライトを灯りず、ぬき足、さし足、
車がうき、未年度の山行に取り入れて廻く様
を計りますつもります。

このび足、鼻をつまゝ薙てもかからない壇そ
だ。小川谷の出合を過ぎれば早や玄倉だ。昂
り轍を渡りバス停へ。一時廻程舞時間あり、
前の店やで、誰かさんと誰かさんの御舊選人
戦が始まつた。

季 春 会 だ よ り

先日の例会で皆さんの布せをあたずねした結果
果を先日の委員会で次の様にまとめてみまし
た。

声 意見である。

部報に昌に私が書いた文に対しても、せめぞ私の立場より適当に考えて居らるると思うが、私に対するは毎日解説をしてきた人はいらない。但集合の席上で、二、三の人と話してみただけの事、はなほぞ残念に思う。

以前、しだの巻頭に、どんな所でもいつも笑顔で会える様な山仲間で、ありたい、と云う事まで書いた事もあつた。

我々の大半が、支那、個人を向わず、仲間と一緒にて山行を行ひるのはクラブあつての事と思ふ。そのクラブに対する必ずや希望等の意見があつて良いはずなのに、それなのにどうだろう。9月の集会に於て、或る人は現状で良いと答えた。支那山行より個人山行が絶体多いため、自分の求めるものは、全て個人山行で満足されているからであろう。こんな気持を持ったものが、次ぎ、クラブとして仲間にう。

うか。私は、個人山行や打合せ等に示す旨のファイトをもつとクラブに対しても表してほしいと云いたい。また、クラブの一員であると云う事をいつも頭に入れて、よりよいクラブにして行く義務があると言う事を。

山行の程度についても各人各様で、ハイキングで満足している人も、より高い、より高度な山にあこがれを持つ人もいる。お互の望みが違う集りなのであるため、双方を満足させる様な事を考える必要があると思ふ。また委員はいつもクラブの先頭に立ち、一歩前進した考之を求めるべきである。委員は何も之らい人ではなく、クラブの難役なのであるから、何もかも良し悪しの判定をするものではない。クラブの性質より考之、全て合義性のあるものなのである。だから、部員であると云う事は委員の一員であると云ってもおかしくない。その奥を全員が考えて活動する意見を

豊山元老

行事報告

〔浦鬼〕10月2日誕生日連迎之吾人
小川善利 落合三次 金子忠母 水野善徳

個人山行計画

10月2日 (未)

名取 白玉門 駒留ノ琴

車籠 片山一重 磐田の昌吉子

10月8日 定例集会 斎藤人会館 18時0分

10月23日 奉告会 斎藤人会館 19時0分

18時0分

10月24日

聖火アリアス 木曾義一 岩崎

車籠 小幡善利

10月12日 喜納集会 斎藤人会館 18時0分

18時0分

10月20日

ボツカ計画

連絡 斎藤善利

個人山行計画がありましたら、どうぞ発表して、大勢の仲間をさそって下さい。
②主催行の原稿を募集致します。何でも結構でから提出して下さい。

昭和38年11月12日発行
NHC 横浜支部
横浜市港北区青砥町609 小川才
編 貢 小川龍利

第84回支部山行

忘年山行

橋倉鉱泉と 山石殿山

12月8日(前夜早立ち)

[係] 小川龍利

横浜市港北区青砥町 609

[申込み] 11月20日迄に小川へ

〆切日を過ぎての申込みは連絡の関係上
宿泊出来ません。〆切日をふ忘れなく
打合せは追って連絡致します。

準例会

11月28日(木)

18時30分 婦人会館

スライド大会
今年の支部山行を

スライドで振り返っ
て見ましょう。多數
御出席下さい。支部

山行以外にも次の様
な記録があります。

雪の北八ヶ岳

氷の殿堂雲竜渓谷

春スキーの月山

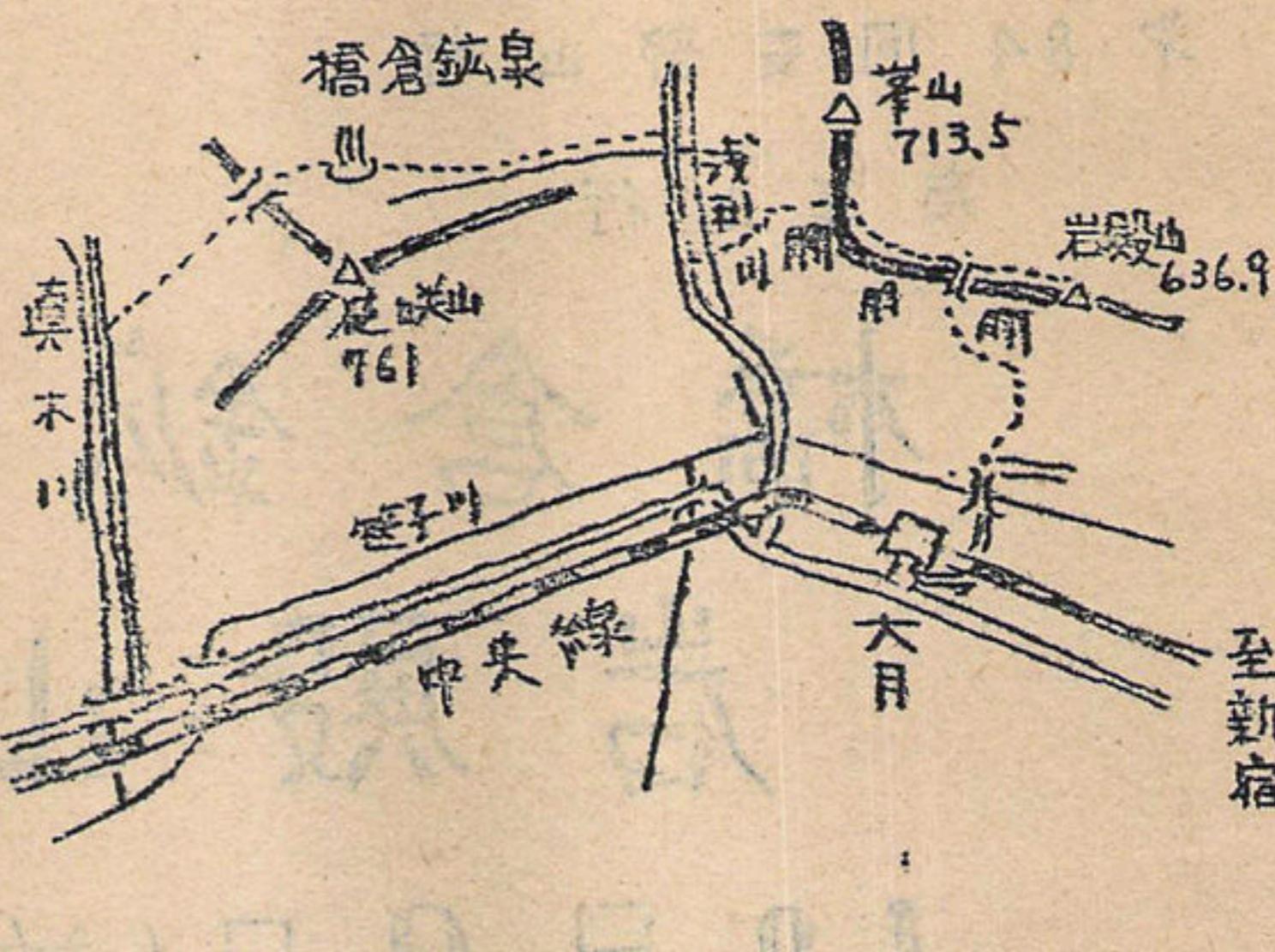
残雪の南アルプス

水芭蕉の尾瀬

岩稜の鋸岳甲斐駒

その他

岩殿山附近



中 実録の猿橋がう大月への車窓に、右手に

大きくなるのが、つてくる岩壁が岩壁山の

金岩である。

戦国時代の本がしには山頂に城が築かれ、上野の吉妻城、駿河の久能山とともに関東の三名城と言われた。

城主は武田勝賴の家臣小山田信茂で、織田
徳川連合軍に滅亡したゆえに武田氏の領地である
頃々上の殿望もよし、勇大な仰せよ、並へ
の大苦難の山山、島山、五嶽山などが見
之る。

金銀屋が、着殿山を登つて大門を出る
橋 時間の行程で、から、夜行で行けはい方
は朝立ちどうも。

④山東でか土産の交換会を行ひますから、各
町町以上のお詫びり物を

支 部 山 行 報 告

オ 82回山行

日光 半月峠 (10月13日)

参加者 (上) 著合正次 酒井国榮

(ア) 水野邦保 松川國男 祇藤義喜
金子スエ子 高山美恵子 他一
名

コースだ。

半月峠までの登りにひと苦労、でも高度を

浅草 (0・10) 日光駅 (ニ・四五) 四・三〇)
中禪寺湖 (五・〇五) ハ・一五) 狸窪 (九・〇五
(一九・三〇) 半月峠 (一〇・一五) 一〇・三〇)

あげるにしたがつて、正面に男体山の勇姿を
仰ぎ、眼下に湖の碧水を望む二ことができる。
眺望絶佳だ。

金山茶屋 (一一・五五) 一二・三〇) 深沢橋
(一三・一三) 両膝駅 (一三・四五) 一三・五〇)
浅草 (一八・五五)

麓をも見物してきいた。ブラン鞄の音もたか
く湖畔へ町を歩く姿は良く目立つ。

湖水遠に見る山々はすっかり紅葉してサン
サンと朝日に輝やいて美しい。

中禪寺湖で三時間近く遊んでから、今日の

目的地半月峠へと足をむけた。立木觀音堂より
狸窪へと歩く道は、静かなプロムナードコ

早朝中禪寺湖に着いたので、湖の北岸に達
つて荒山神社沖宮祠に詣で、その足で蓮巖の

返り道は半月峠より両膝までの下りっぱな
しのコースにみんないさ、かバテ気味だった
簡単に思えた山行も、思べたより辛強い相手

でした。

声準例會上丁巳

このと二つ、準例会という会が、有って無い様な状態がつゞいて居る様です。

マキシムで座談会等を行ひ、私達個人の専門に対する見解を広めると共に、支船四隻をもつてと充実した会上出来る種々な趣向義理集会にしたがいと頑こります。

この準例会といふのは、月一回の例会に當

席出来なかつた方のために、支那の本流の講
話や、例会で出来なかつた事へ關する舞文書
等)を行つてゆこうと發足したのである。第一
うが、いつの間にかたゞ集つてゐる語を聞いて
入荷商をつぶす、どう運営せんかにあつてしま

こました。ニ此、てせむ、御用事もヤマトアリ
ニ比肩してい人のもつまじめり、其の者、
古くなるのは火を取るが一器、ひがです。
まゝでは海+空のもの、御用事もた

りかねません。

今右、二の準例会を範けるには、今の様な

本領をやがて、一々詠歌した故極矣、由も

卷之三

卷之三

委員会だより

各課の受持ちは次の通りです。

会計（一名）一般会計及庶務（食事の申込等）

会計（一名）一般会計及庶務（食事の申

今迄支部運営のために、代議、会計、監査、運営といふ係でやつてまいりましたが、色々不合理な弊がありますので、今后左図の様な形式にしたいと思います。今迄は委員という名があるばかりに、会計も監査も支部山行のリーダーを受けもたされて居りましたが、今後支部山行のリーダーは、企画及山行係に一任し、会計及總集は山行については一擧タツキしなくても良いことにしました。

会計（二名）（合計五名）
企画（三名）（合計三名）

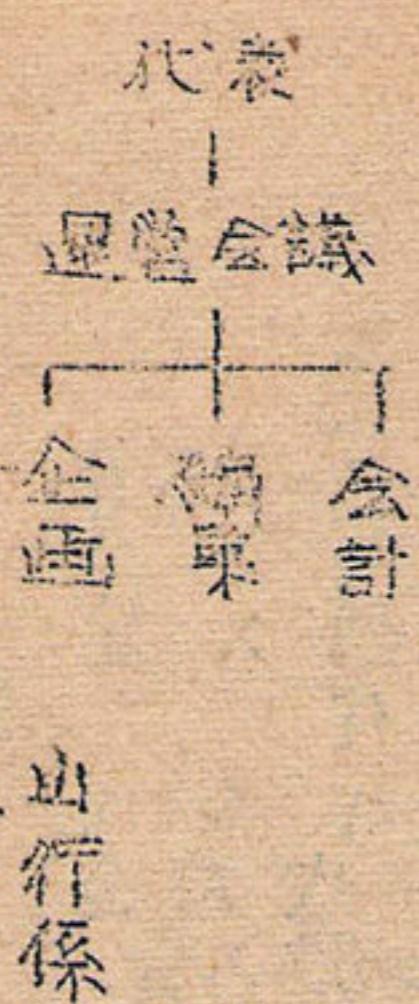
支部山行計画及支部山行の
支部山行計画及支部山行の
支部山行計画及支部山行の

山行係（五名）
（合計五名）

支部山行計画及支部山行の
支部山行計画及支部山行の
支部山行計画及支部山行の

リーダー

企画三名の内代議（一名）が含まれます。
そのため支部会則を一部変更になります。



(5)

山行会議

黒板を購入
集会室の議事進行のために黒板を購入致しました、山行報告の折などどく（序刊用下）

會計報告

38年3月～38年9月末

(收入)

前支集	月寄	縁会	越賃費代入	4.719
				14.500
				1.050
				4.00
				3.405
				340
				24514

〔伎出〕

9月未殘高 3489.-

ません様
(会計係)

お知らせ

11月に誕生日を迎える人

影山元芳
佐藤道

卷之三

新入会員紹介

竹村圖考

東京都大田区馬込東四丁目三

45 茶園類子

平塚市田村五八〇八

牛河本萌代

相模原市測野辺一九一〇一

今后共よろしくお願ひ致します

山行報告

中央ア宝剣岳・木曾四強ヶ岳(10月26, 27日)

参加者六名

駒ヶ根駅にありた時には情無用の雨がはげしく降りつづき、今回の山行にケチをつける様だ。

午後には時々降りやも様になつたが、それでも下半身はビヨヨヌレ。小屋番のいない小屋で泊り代ともうけようとしたが、床が汚くなかったのだろうか。とうとく干鶏敷でストーブにあたつてしまつた。

翌日も天気はパツとせず、それでも空漁。

駒ヶ根では木曾川のむこうにあんだけすぐで知らぬ木曾御岳、木曾川をへて、南アルプスの一部が顔を見せてくれました。

下るにしたがい青空こそ見えたが、

漆原がそれ、山麓の紅葉が素晴らしくきれいでした。

個人山行計画

12月1・2日

道は山雪上訓練

ニ水から雪山を登つて廻をいといふ方はどうぞ 小川立連路下さり

新年会

例年のごとく一月例会をがねて新年会を二十二日開會に行ひたいと思つてあります。

定期集会

12月10日(火)

個人会館

18時より

議題

例会

例会の在り方

原稿募集

一月に「しだれ号」を発行した、と思いま

す。紀行文・詩・歌など何でも結構です。我が支部報のために協力を願います。

火曜日 報知新聞
不曜日 東京中日新聞・日刊スポーツ
夕刊毎日新聞
金曜日 夕刊東京新聞・夕刊毎日新聞

前記の新聞名何とかわかりますか、これら
の新聞には登山やハイキングの室内等がのつ
いています。ごまかれたと思って見てごらんな
さい。
又ラジオ関東で毎日18時30分より、
さざと高原のガイド、という5分間の番組があ
ります。中央線・上信越線・東北線等の主な
列車の乗車率を知らせてくれるので大いに約
束です。

行事報告

日付	事項	出席者	場所
10月8日	定例集会	20名	婦人会館
10月13日	カ82回山行	半日峰	参加者8名
10月23日	準例会	出席者名	小町だんご
10月29日	委員会	出席者5名	小町だんご
11月1日	カ83回山行打合せ	小町だんご	
11月10日	カ83回山行	御坂山塊参加者8名	
行 事 予 定			
11月12日	准例集会	婦人会館	18時
11月19日	委員会	小町だんご	18時
11月27日	準例会	婦人会館	18時30分
12月8日	カ84回山行	忘年山行	
12月10日	定期集会	婦人会館	18時

53号

昭和38年12月10日 発行

S H C 横浜支部
横浜市港北区青砥町609小川竜利
組員 小川竜利

スキーシーズン

来たる！

いよいよ待望のスキーシーズンが
来ました。雪のたよりも雪がれる今
日このごろ、僕は早くも白銀の世界
に飛んでいる方もあるうかと思いま
す。

さてこゝでちょっと備注を！

この頃のスキー場での事故の多い
事、やれ骨折だ、捻挫だなど泣かない
うちにふだんのトーションなどをどう
ぞ。ふだん運動不足の方はつとめて
歩く様に、又、階段の登り下りなど
ペートでちょっととこつ事もでき
ます。

なにともこうばぬ先の杖
ご用意ご用心

新年初集会

1月 22日

(木)

時場所

年後六時より
大田屋

申込み一日10日迄に左記

中山一丁目

中区伊佐木町245

大田屋

松屋野澤屋

テアトル横浜

伊セ佐木町通

電気出力

オ85回支部山行

北ハケ岳 高見石

1月12・13日(一泊二日)

(ユース)

12日茅ヶ野→達の湯→サインの河原→

高見石小屋 平後附近を散歩

13日高見石小屋→サインの河原→茅の

湯→茅ヶ野

(係) 小川重利

横浜市港北区吉田町六。九

(費用) 約2,000円 含小屋代

(打合せ) 1月8日 18時30分 小町だんご

雪山の初歩として 北ハケ岳の高見石小屋

迄入ってみたいと思います。茅ヶ野を一番の宿

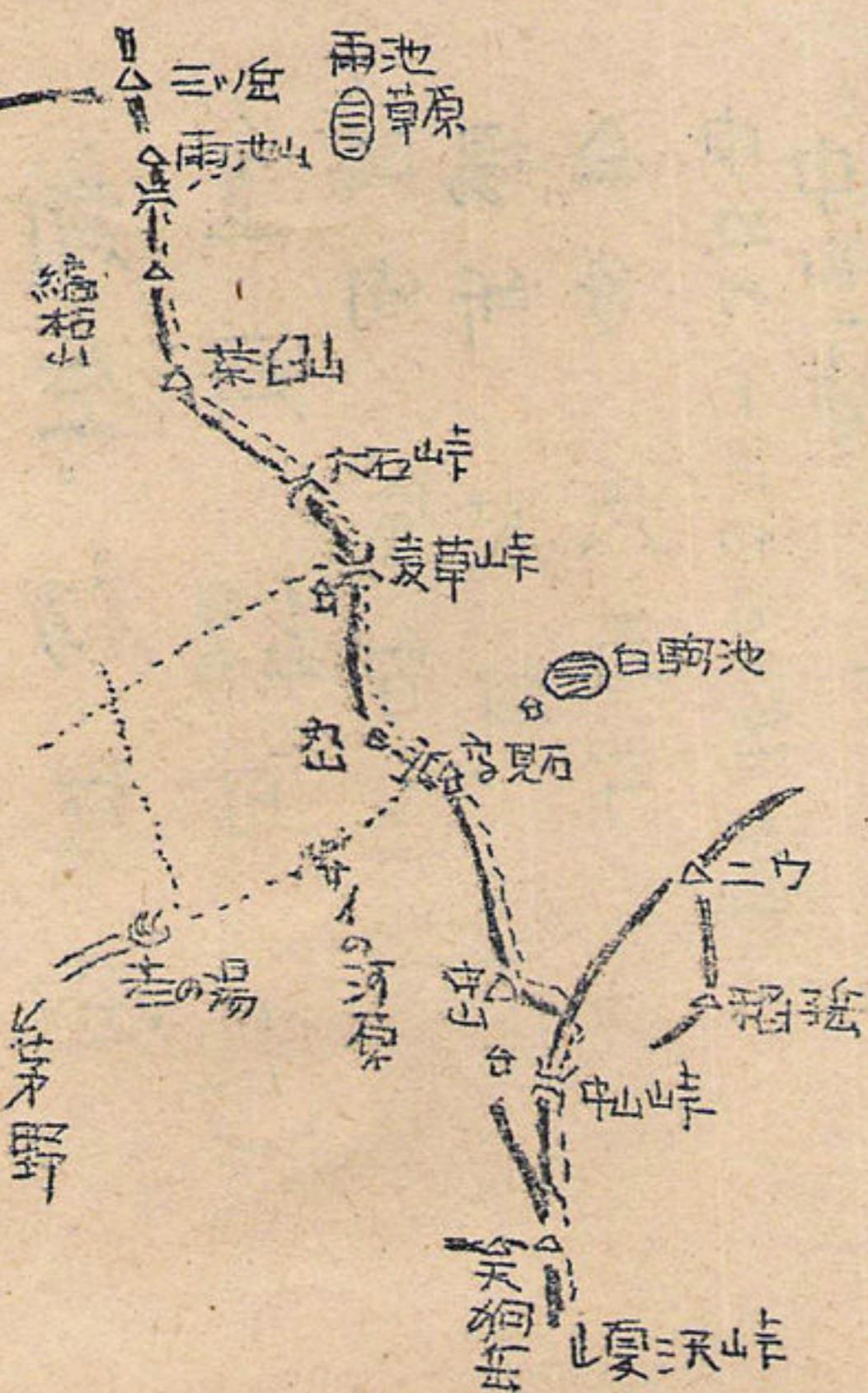
野湯行バスに乗れば、宿場には高見石小屋に

着く半日行程です。

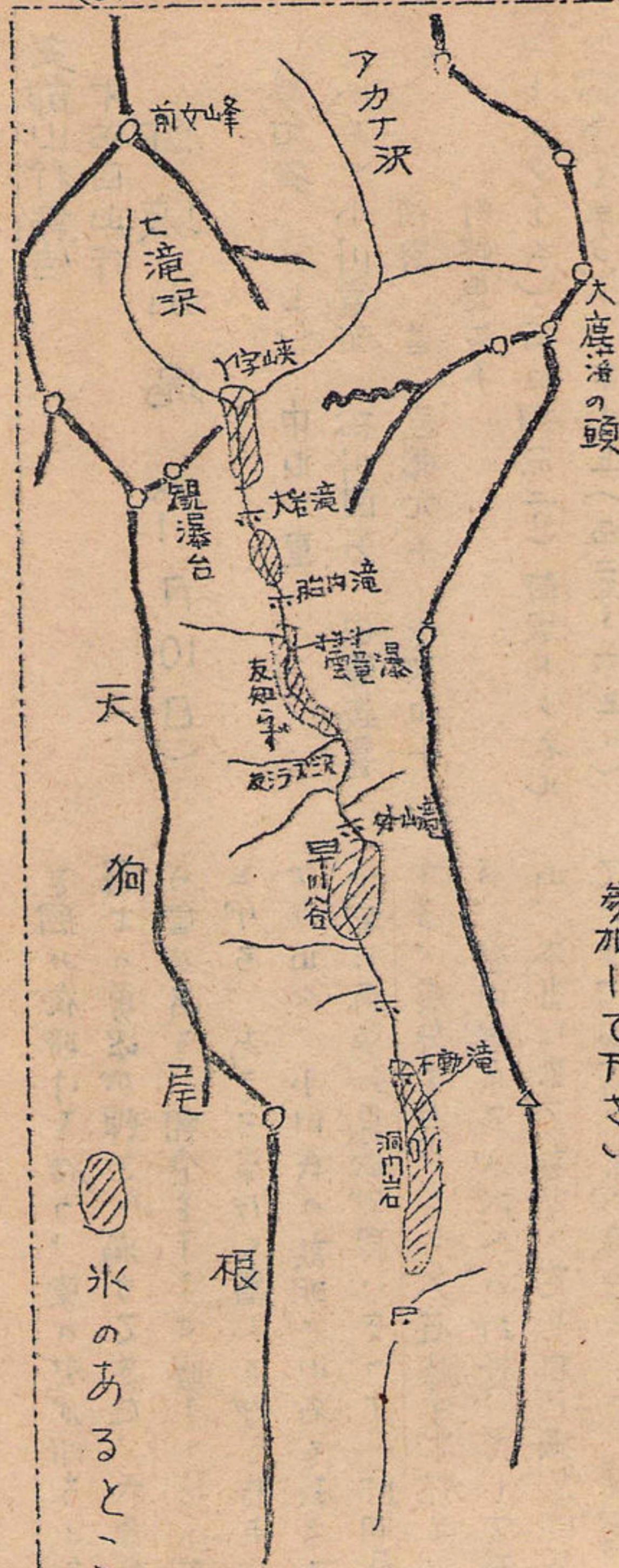
雪もそれほど深くはないと思ひます。又山が
ぬれても小屋にはストーブが燃えていますか
うすぐわかる事が出ます。

全然危険の無いコースですから、これから
雪山を歩きたい方や、一度良いから雪の上
を歩いてみたいと云め出る方も大いに参加し
て下さい。

雪山の良さをたっぷり味わつて行きましょう



(3)

ヤマガ支部山行
86

氷の殿堂

日光

雲竜峡谷

2月2日(前夜巻)

係 小川龍利 影山元芽 斎藤清

費用 一五〇〇円位

打合せ 1月29日(水)
18時30分

小町 びんご

雲竜峡谷とは田尾大谷川支流稻荷川上流の廊下状の峡谷のことです。この谷の冬期は、巨大な氷柱と懸崖に巨大な氷柱がかかり蒼氷を求めるアヒルニストの好適なトレーニングの場として親しまれています。

東京近辺では見る事の出来ない巨大な氷柱が立ちならんでいます。早川谷附近ならアヒゼンも必要ありません。つらい見物に多数参加して下さい。

支部山行報告

ヤ83回山行

御坂山塊

(1月10日)

参加者 (一) 中山一重

(ロ) 小川竜利 松川國男 佐藤義喜

鶴野昌

遠藤光子 佐次和子

町野恵美子

(コースタイム) 河口湖(日20) 御坂トンネル
入口(日20) ドンネル上(5.35~6.50)
御坂山(セニ) 日御坂峠(セニハ・五) 黒岳(カキ
岳)(見せ崎)(日0) 大石鼻(1.55~1.00) 長
浜バス停(日3) 河口湖駅(1.50)(記) 每しう寒いのでじつとしている華が
出来ない。夜空は今日の晴天を約束するかの
様に冷こませる、臨時バスに乗車、三ツ時
入口で大部分の人々が降りてしまい終点御坂ト
ンネルで降りたのは十二人、三人でちょうど
中電灯で観りに歩きだす。トンネル上で焚火
を囲み夜明けを待つ。東へ空が明るくなり
勇士の勇姿が輝きに満ちてきた。六合目位が
ら雪がある。朝食をするまでは暖まつたので體を
上げる。あかる事なく勇士を仰ぎ右手には西
アの山々・小川氏の説明で山名を教えて戴
一等三角点の標識で頬にさして一等回峰標を
する。英気を養つたら大石鼻まで休まず終は
ず。全山燃ゆるが屹立の紅葉、そして轟かな
山、本当に来て良かつたと自己満足にかけつ
ている内ふ脇の虫が鳴き出一た。我禱して大
石峠についたらからくく。昼食とする。食べ
終つたら現金なもの、陽気につられて轟りこ
けてしまつた。大いそやで仕度をしバス停ま
で急降する。風象には真赤な柿が幹下にがら
出來た。一日中あかることなく勇士を見る事
が出来た。一日中あかることなく勇士を見る事

スキー・モーテル列車出現

雪平スキー合宿

2月9日(土)~11日(月)~13日(水)

係落合正次

横浜市戸塚区田谷町一、四五三

申込〆切 1月10日迄に係へ
宿泊の関係上その他でメ功日が早りますが
参加される方は必ず係へ連絡して下さい。
人伝はお断り致します。

費用 約三〇〇〇円

山中湖畔に人工スキー場

山中湖畔にマウンテン富士スキー場という名
で、十二月十五日に開場します。東京近郊か
ら朝立ち日帰りで滑ってくることが出来ます

今年も余すところ二〇日あまり、早くも正
月の山行ラスキーに行ひ心が騒んでいることじ
ょう。だが走りない様に注意して高いお正
月を迎えて下さり。

お知らせ

12月に誕生日を迎える人

柳瀬善利

おめでとうござります

(退会)
河本萌代

家庭の事情で退会することになりました

行事報告

行事予定

11月12日	定期集会	出席者16名	婦人会館
11月19日	季節食(漬物)	出席者2名	
11月28日	準例会	出席者13名	婦人会館
12月4日	季節会	出席者4名	小町だんご
12月5日	第84回山行打合せ	小町だんご	
12月8日	第84回山行 橋倉鉢巻参加者7名		
12月25日	準例会 小町だんご	18時	
1月8日	第85回山行打合せ	18時30分小町	
1月12・13日	第85回山行 北八ヶ岳高麗石		
1月16日	季節食 小町だんご	18時	
1月22日	新年初集会 太田屋	18時	
1月29日	第86回山行打合せ	18時30分小町	
2月2日	第86回山行 日光雪看映会		

会例会

12月25日(水)

19時より 小町だんご

クリスマス・イブには一晩おそいの
ですが、楽しく語り合いましょう

昭和39年1月22日發行

S.H.C 横浜支部

横浜市港北区青砥町609小川

編集 小川童利

山入

明けま

あめ

めでと

きみ

とく

さう

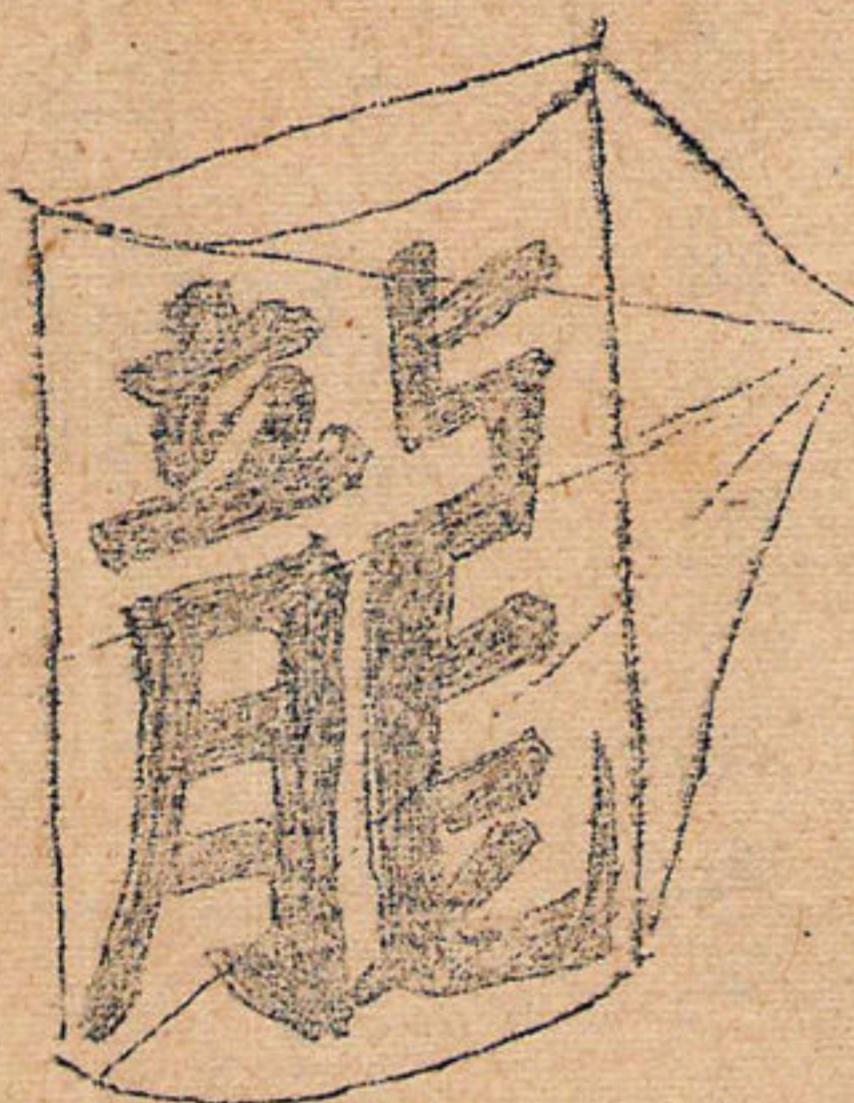
す

す

す

今年も大いに
樂しい山歩きを統けましてよう

季員一同



第87回支部山行

(2)

支部山行

スヰリ

合宿

2月9日(日) 沿三日(

(係) 落合正次

横浜市戸塚区岡谷町一、五百三

(打合せ) 2月5日(火) 18時30分より お小町だんご

(費用) 約三〇〇〇円

(切符) 横浜——上田——薬平——金子——銀坂——

駅前———蘆木の園遊場を構入ること

(集合) 横浜駅改札口集合

2月8日 20時

橋倉鉱泉と岩殿山

参列者（上）小川赳利

（下）浜野経治 齋藤清

黒木文夫 熊谷幹夫 南野昌

コースタイム 高尾（二〇・〇五）

高（二一、一〇）一 稲倉鉱泉（二二、三〇）

稻倉鉱泉（一一、三〇）神社分頭（一一、四〇）

一 梶原（一一、二〇）一 稲生（一三、〇〇）

一 カブト岩（一四、〇〇）一 一五、二五）一 岩

殿山（一六、〇〇）一 一六、三五）一 岩

一大月（一六、四五）

高尾発の電車なので空りでいるを思ひ毎
か、勤め帰りの人達で満員だった。五時半に
各駅での停車時間が長くなりがちで、一気に下
し、二度と二人を電車に乗るまではなかった。

橋倉鉱泉はしてみて良い場所だった。サ

バスも併々実戦を行った。

翌日打撲體にめぐらす頃、朝早く見返り峰まで富士山を見に行つた人もいた。

ふそい朝食をすませ、宿を出たのはもう昼
午後八時。東京夢の石道を歩きもどり、川
を渡つて尾根上をりつく。がすかにつけてい
るふせ跡をよりに被線た走る。岩壁が重直
に落ちてゐる轟子落しほんとうにナ音フリ
ツジだ。落葉をかきつゝ歩いた道が急に岩壁
に右手を持てまねた。左手に捲道をさがし頂
上に登る。ニ坂ガカブト岩（一七、二五）を
登り昼食をする。岩殿山が目前にあつた。
クサリ場を下つて、最初の登り、岩殿山頂

にモラ。大日の御逆手に取る。轟た坐之る。そ
のくタセオガキネつてきていたので、一度に下
り、桂川七ヶ、名高日橋を渡り、藤原街を避
け、天日原があつた。

一日に誕生日を迎える人行事報告

行事報告

酒井国榮 中山一重 町野恵美子

松川国男 何山 昭

あめでとうございます

12月28日 定例集会 出席者名 小町だんご
12月25日 準例会 出席者名 小町だんご
1月8日 オ85回山行打合せ 小町だんご
1月23日 オ85回山行セハケ岳(中止)

正月休みは各地で雪不足、皆はへんじ山行を

1月16日 玄巣会 出席者5名 小町だんご
1月22日 新年初集会 18時 太田屋

54号
おもうございます。余すところお詫びのシーディーで
おじかれた事でしょう。それでもやっと雪も
もってきて、どうやら着れる状態になった
です。おとおきながらがンベリましよつ。

行幸予定

1月29日 オ86回山行 日光雲竜峡谷
2月2日 オ86回山行 日光雲竜峡谷
2月4日 定例集会 18時 鶴八会館

ニュース

館

今日はオニ火端田が
壱平スキーリゾート

金所交換

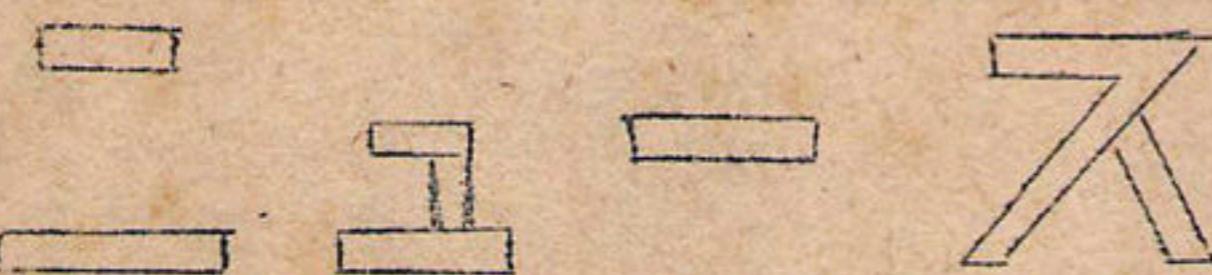
金玉鬼

横浜市神奈川区菅田西一、六二二

定例集会

日 4日
(火)
18時より会
人 館
るので一週間早くし
ます。向こうなはで
下さる。

55号



昭和39年2月4日 営行
S.H.C 横浜支部
横浜市港北区青砥町609番
編集 小川義利

第88回 支部山行

箱根

明神岳 明星岳

3月 日 (朝立ち自効)

(コース) 横浜 — 新松田 — 南本 —

道了山 — 金明木 — 明神岳

— 明星岳 (徒歩 約4時間)

(係) 斎藤 清
横浜市南区別所町 888

(費用) 約 600円

(打合せ) 3月 日

定例集会

3月 10日(水曜)

18時より

婦人会館

準例会

2月 26日

(水曜)

19時

小町だんご

の山にも日射しが強くむる陽春の一日を
スをのんびりと歩いてみますよう。

支那にとつては、32年の秋、内輪山の神山
駒ヶ根外輪山の明神ヶ岳、明星ヶ岳のコト

西共に西高東低、東方に相模湾の大さな匂い
馬の美しい眺めを満喫できる

明神ヶ岳から下りは、堺の磯から踏り沢
駒ヶ根以来、久々ぶりの箱根行です。

明神、明星ヶ岳の展望は、富士は申すにお
よばず、北方におほじけの丹沢山塊あり、南

方に内輪山の神山、駒ヶ岳が目前にひかえ、
西共に西高東低、東方に相模湾の大さな匂い

馬の美しい眺めを満喫できる

明神ヶ岳から下りは、堺の磯から踏り沢
へ下るコースと、富士野から磐梯へのどちら
かは、その日にちもよいでしよう。

(地図) 五分の一原

個人山行記画

2月22日～24日(三日目)

志賀高原、高天原スモー

費用約四〇円

支経、往路

港



先頃、しおり 13号に付し次の様な文書を記すと
「さまとた。」

（現文のまゝ）しおり 13号は渋野さんから書き
ました。むかく見事なでさばとです。川井

敦肇者が新ハイの元の会員で、現会員は美野
中央、八田、木川、喜舎の五員では、あきら
にも新ハイとの關係がうすいがます。会費期
限は次の通り

石川 石川

1月10日退会

32. 清野國榮

3月10日退会

十二月二十日

33. 岩山元亨

3月10日退会

34. 金子恵好

3月10日退会

35. 香藤清

3月10日退会

36. 平野洋平

3月10日退会

渋野さんから着いた人に手詰して下さったほ
うが事があまり重ひと思ひますのでまことに
あぬがいします。

支部として奉仕する結果とちがいます。
支部は正会員は五以上の集まりです。みなし
んでご相談してこなご存続するほう金員を納
めるとか、さうでなければ支部の動きから削除
し、新ハイの名をあくまで下さるがどうかに
おかれます。

や、3年も市に金員切腹の人がありましては
支部として奉仕する結果とちがいます。
支部は正会員は五以上の集まりです。みなし
ておきます。支部にとつては、今迄の足跡を
つけておきませんが、今も朝から会員切腹

(4)

残す書類な記録でするので、現在の状況に合う
様に一部訂正しただけなので足りない会員の
名前ものせた次第です。

支那報に会員外の名前が出ているから駄目
だという事は当らないと想います。特別寄稿
という事もあるはずです。

以上の様に説明一であります。新ハイ

横浜支部の会員と、二本部の会員と
いう事にもなりますので、現在正会員でな

オオは、なまへく正会員になつていただき王
と云ひますので、ようしく馬鹿下さい。

行 事 予 定

2月4日	定期集会	18時	婦人会館
2月5日	支那山行打合せ	18時30分	小町
2月9日	支那山行	吉平スキーコンペ	
2月26日	準例会	19時	小町さん

3月10日	定期集会	18時	婦人会館
-------	------	-----	------

二月二講 生田を迎える人

本・支那合同集会登山

城井俊明

おめでとうございます

4月や一日曜日に本・支那合同集会登山が行
やります。場所は徳川の外郭山です。

発行 昭和39年3月18日
S H C 横浜支部 小川方
横編集 横浜市港北区青砥町609小川童利

ユース

新年度委員会改選結果

代表 ○小川龍利 15票

影山元芳

6票

落合正次

2票

運営委員 ○青藤 清

18票

○中山一重

18票

○落合正次

18票

影山元芳

11票

酒井国崇

10票

小川龍利

7票

○浅井俊明

6票

○向山 曜

6票

金子忠好

4票

八田幹天、水野邦保、小山俊次

佐藤浩以上3票、久保田治2票

万代岸夫、平野洋子、遠藤光子

男野恵美子、佐久和子、柳瀬善

利、佐藤義喜、松川国男、高山

美更子、本田美智子、鈴野昌以上一票
以上の結果、影山、酒井両氏が家庭の都合
で辞退致しましたので、変って浅井、向山両
氏にあ頼い致しました。

分担は次の通り

代表 小川龍利
青藤 清

落合正次

18票

企画 中山一重
青藤 清

向山 曜

会計 浅井俊明
向山 曜

書記 山行係
木野邦保

黒木文夫
南野 昌

金子久エ子

今後共よろしくお頼い致ります。

尚企画委員の推選で左記の方に山行係を

御願ひ致しました。

オ89回 支部山行

(2)

4月

寄山

集中

（本部支部合同）

5日（朝立ち日帰り）

コース

五日市駅

||| 沢渡橋

川寄山 — 今熊山 — ハ王子街道

五日市駅

係落合

正次

横浜市戸塚区田谷町一、四五三

打合せ

4月1日（水）18時30分 小町

費用

約五〇〇円

年に一度の本、支部合同集中登山です。山

二頂集合時間は午後二時です。

二の川寄沢からのコースは集中コース中最

短い頂上迄徒步二時間程の楽なコースです。

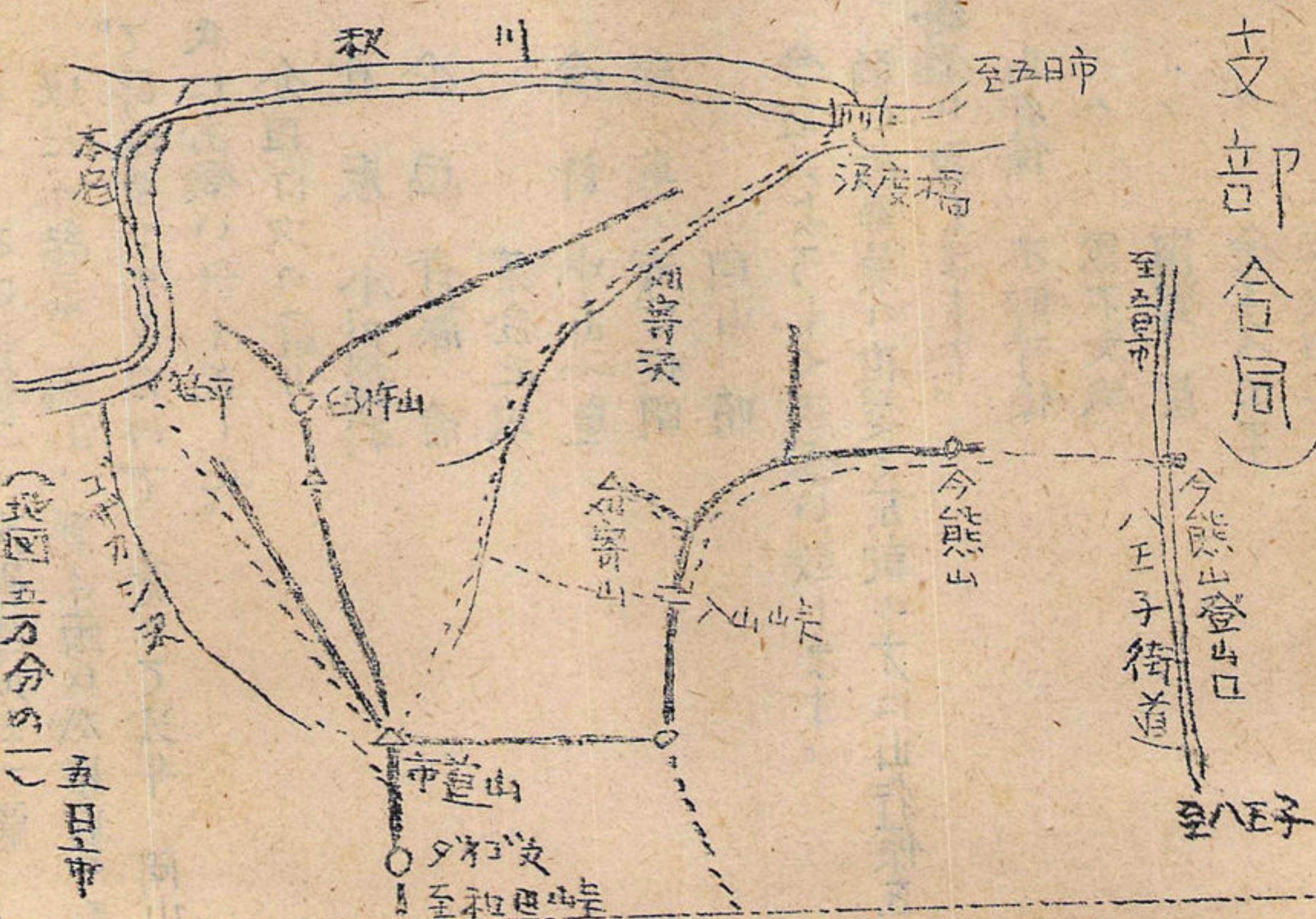
沢と云つても流れに沿つて道がついて居ます

から誰でも歩けます。なるべく参考加えて

下さい。

（金額五万円）

五日市



第86回山行

の深さがあるので、ラッセルの跡をはすくぬ
様に進む。

日光 鹰之 菅原 谷

参加者へし 木川龍利 影山元茅

(P) 万代岸夫 黒木文天 熊谷幹夫

中里一久 関野昌 飯三名

コースタイム 日光駅へ五・〇分 小暮平

(六五五・七二五) → 日向堰堤 (八・〇)

ハニコリ 不動の滝へ丸一ヶ月四〇日

早明谷 (十・〇〇・二・四五) → 小糸平 (一・三)

(一・三・一五) → 神橋 (一・四・〇) → 日光駅

(一・四・四五)

日向堰堤で道を右岸に渡る時、轟飛びがた
りず水の中へ足を突き、二人亡人もりた。

河内岩坂左下に見送ると、いよいよ、河身へ
おり立つ。ところが不動の滝の堰堤がつまつ
ていて、風の吹く寒いなかで四十分も待たさ
組みました。やつとの事で不動の滝を越え
早明谷へ来てみれば、ほんのちよつひり水柱
があるばかり、土の音も交り歌ひもしない様な
ので、一、二、三度食をすませてもと来た道を引
き返す。金牛頭詔宮の入口近くにてみたが、
入場料が高めなので、中へ入らずに帰つてまた

三 上野○時雨○今朝の朝日は日光駅堰堤時、葉
る人が少なくダラ空きで、座席を壇跡にあら
してその上に寝る人もいました。

日光駅から行けるところ近車で行く予定だ
つにがあいにく一台も異之す、テクシードとな
る。

第87回山行

菅原 又キリ 合宿

参加者へし 落合正次

(P) 小川龍利 斎藤清 金子スエ子

今年は積雪が多く、小糸平を過ぎると膝位

木野邦保 佐藤義喜 他二名

(4) 土曜日の夜行列車が超満員、やつと一ホツ
クス取って六人揃う。とても鳴らさんでござ
ります、田舎へ。

きたため、今日は一日だけの休日とかとれなかつた種だ。

クス取つて六人掛け、とても寝ると、さうではなく、とうへ一睡もせず上田に着く。
高平でバスを降りてもまだ夜は明けやうす
宿のスズラン荘に着く頃、やつと黙るくなつてきいた。

三日廻の金宿も終り、午後は須坂へ下る。
初めてスキーやをつけた人もいたが、途中で
時間をついやし、仙本迄三時間程かしつて一
まつたが、全員事故なく帰ってきいた。

部屋に上つて一眠りしたかつたが、雪を見るとさうもゆかず、仕度をしてゲレンでに出

ニ秦うへて其の事に付し、ニ羅乃が其を

裏ダボスで自分の技術の練習で午前中を過ごし、午後は壁降りがひどいので、とうくコタツに入りっぱなしだった。

田田も盆栽うずくまでいる。今年新設された温室光のリフア館で、かにた朝日園芸のハーベンをつけて口へで坤。

アカ近く、今日迄一か休みかない」と云ふの
氏は一人で須坂へ下つていつた、

三日目・今日は来るか、四日目は来るがど
こもませた川井がやがてキハシ。しかも今休業す

◎雑誌「新ハイキング」の購入について

新 年 会 計 報 告

最近我支部の会員で本部への会員切取の人
が多く、先頭名簿を提出したう、会費を執つ
ている人は10名やっとこりうる況てす。一
位10名の会員が居れば支部を名乗る事は出来ま
すが、支部員40名程のうち本部の会員が毎年
位ではいさゝか遜しいがゆえです。本部の見
方解は雑誌「新ハイキング」の年替り證者書
支部の正会員であつて他の方は会員とは認め
て居りません。我支部もがなうす本部の会員
二人であれ、とは言ひませんが、なるべく大勢の
いと願ひます。今年から会員が向上しまま
て、年額1,000円ですが月に100円程の購
約をすれば済くほむてす。皆様の御協力をよ
頼ります。

小川龍利

(収入)

会費	9,600
等等	1,400
<hr/>	
11,000	

(支出)

乳及料理	65.00
お酒	36.00
三五ス	3.00
湯	5.00
席料	20
	<hr/>
	92.20

差引残高 1,780 ---- 支部の会費に収入のまます。

以上のお粗く報告を致します。

此報を御存知下さい。

浜野 加藤 西田 より 謹申候。

新入会員紹介

45 痘刃美智子

横浜市保土ヶ谷区二俣川町二番五号(5丁目)

44 萩田順子(9月入会)

平塚市田村

三月二日誕生日を迎える人

斎藤清 佐次和子 上村範子

おめでとうございます

行幸

吉

足

3月18日

定例集会

18時

婦人会館

4月1日

第89回山行打合せ

18時30分

小町

4月5日

第89回山行

新寄山集中

4月14日

定例集会

18時

婦人会館

行

幸

報

告

2月26日

定例集会

出席者

名

婦人会館

3月3日

第88回山行打合せ

小町

3月15日

第88回山行(参加者無く中止)

定例集会
4月14日
(オ2火)
18時より
婦人会館

準例会
3月25日
(オ4木)
19時より
川町だんご

松川國男氏が去る3月6日銘結なされま
した。支部にて記念品(壁掛)をおくり
ました。

新居は
神奈川県大和市福田二、〇一三です。

ニュース No. 57

昭和 39 年 4 月 14 日 発行
S H C 横青 浜崎 浅井 俊明
支町 港北区 横浜市集編
小川方 609 俊明

新年度 山行計画

5月 鳳凰三山（二泊三日）

5月 伊豆長九郎（一泊二日）

前日ゆっくり発つて、のんびりとしや

くなげの花をみながら歩きましよう。

6月会津駒ヶ岳（一泊二日）

梅雨のシーズンですが、その間の晴れ
間をみて歩きましよう。

7月上旬 ボッカ訓練（日帰り）

夏山シーズンに備えて、ボッカで大い
に体をきためておきましょう。

8月下旬 丹沢沢登り（日帰り）

久しぶりの沢登りを我が支部のホ
ームグランド丹沢で行います。涼
を求めでの丹沢沢登りです。

9月 お月見山行（一泊二日）

高原歩き

恒例のお月見山行、今年はのんび
りと高原を歩きます。ヘッドにひ
たつて下さい。

10月 清津峡（夜行日帰り）

紅葉がさつとすばらしきでしょう。

夏山合宿（三泊四日）

我が支部恒例の合宿です。雪渓と
雲海を眺め、高山漫歩を中心くま
で楽しめましょう。

11月上旬 大滝蝶常念

(三泊三日)

紅葉と新雪を一緒に味わう山行です。新雪の總高連峰をみながら快適な山行

です。

11月中旬又は下旬

十国峠(日帰り)

箱根はだんぐと歩くコースがへって
くるでしょう。今のうちにカヤトウア
ロムナードコース十国峠を歩いておき
ましょう。

12月忘年山行

どこかよいコースがありましたらおし
らせ下さい。

本年度の山行地について

昨年までの山行地は、誰にでも参加でき

る様な場所を毎月一回、支部山行として行
ってきましたが、本年なるべくこの線に

沿つてゆきたいと思ひます。しかし会員の
方の中には、かるいところばかりではつま
らない、たまにはアルアスヘもと云われる
方もあると思ひます。それで毎月一回の山

行の他に、年二、三回合宿形式で高峻山岳
へもでかけ登山技術を身につけてゆこうと
思ひます。今年になつて一月、三月の山行
が参加者なしでしたが山行地が悪かったの
でしょうか? 本年度はなるべくその様な会

ことのないようにしていと思ひます。新し
い人も古い人もお互に楽しく過せる様な会
にしてゆくよう、皆様に御協力お願ひしま
す。(小川龍利)

第 90 回 支部山行

南ア 凤凰三山

五月三日（五日）（二泊三日）

天幕使用

コース

甲府 || 芦安 || 夜叉神峠登リ口 —
夜叉神峠 — 枝立峠 — 辻山 —
南御室小屋附近（泊） — 凤凰三山
— 青木鉢泉 — 鳥居峠 — 祖母
石 || 菩崎（一日予備日）

係

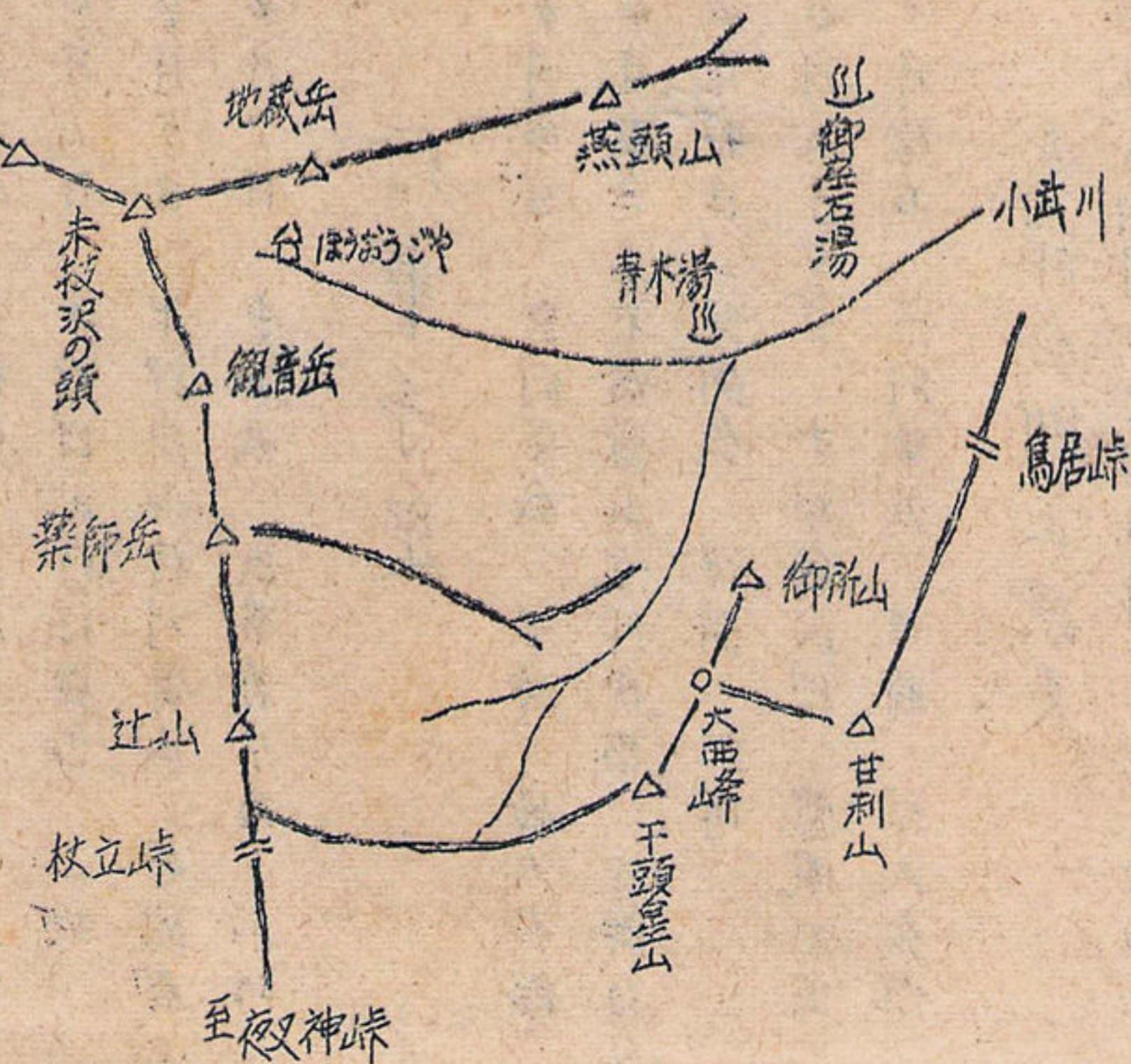
小川龍利、斎藤清

申込 手 横浜市港北区青砥町六〇九

小川龍利迄 ~~×~~ ^{25日}

打ち合せ 久月28日（火）18時30分 小町

費用 約二五〇〇円



山行係懇親山行

丹沢四十八瀬川二俣

4月26日(前夜祭)

一日のんびりと山の技術について勉強したいと思います。山行係以外の方もぜひ御参加下さい。参加される方は例会にて小川迄御連絡下さい。

新入会員紹介

48、鈴木国之

消息

5月8日、黒木文夫氏が結婚されます。おめでとうございます。

行事報告

3月17日 定例集会 出席者16名 婦人会館

3月25日 準例会 出席者7名 小町

4月1日 オ89回山行打合也 小町

4月5日 オ89回山行刈寄山 参加者2名

4月7日 委員会 出席者7名 小町

行事予定

4月14日 定例集会 18時 婦人会館

4月28日 オ90回山行打合也 18時30分、小町

4月22日 準例会 19時 小町

5月3・5・5日 オ90回山行 凤凰三山

5月12日 定例集会 18時 婦人会館

例会

5月12日(火)

準例会

5月27日

支部会則正誤表

や11条細則のへ慶弔見舞の(3)を次の如く正す。
×××
(3)――、委員が代表で会葬する。(約100回)

18時より

婦人会館にて

小町だんごにて

19時より

昭和39年5月12日 発行
 S/H/C 横浜支部
 横浜市港北区青砥町 609 小川方
 編集 向山 昭

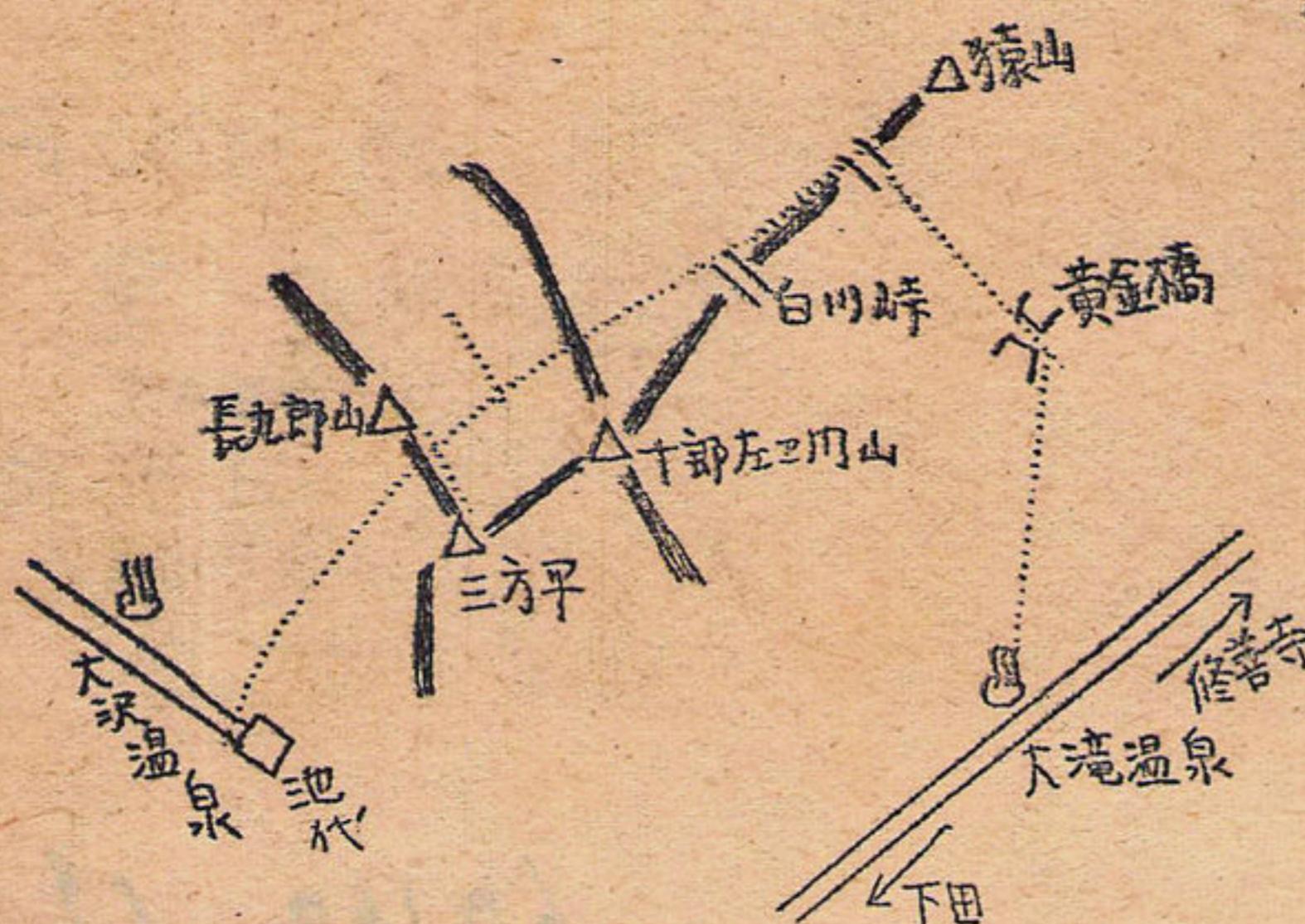
NEWS

第91回 支部山行 (5月31日~6月1日)
 係 齊藤 清
 伊豆 長九郎山

かの日朝ゆっくりと立ってその日は大滝温泉
 で一泊翌日白川峠から長九郎山へと登り
 大滝温泉へ下てくる富士山と海をながめ
 ながらのんびりして尾根歩きです。

(コース)

修善寺 ~~バス~~ 大滝温泉(泊) — 黄金橋 — 白川峠 —
 長九郎山 — 大滝温泉 ~~バス~~ 松崎港 ~~船~~ 沼津



費用 約 2500 円

打合せ 5月27日 18時
 小町ダンゴ

申込先 南区別所町
 888
 齊藤 清

〆切 5月20日

第12回 支部山行(6月14日)
泊2日兩夜行

孫
水縣中山一重

温泉へ足を踏み入れて「アチャリ」とするあの感覚
はやはり尾瀬特有のもの、見渡す限りの温泉を
とにかく歩こう。雜踏の尾瀬沼を左に見て群が
る沼山峰へと向う。ミズバショウを始め立金花、
等の花々を見、七入小屋から見る燧ヶ岳と駒ヶ岳
にはさまれた古くから崇えた松枝岐小屋に迫る。
会津駒ヶ岳は標高二二二二米を數え山頂には一等
三角点、地図には尾瀬に勝るとも劣らない
ミズバショウの群衆、時間があれば中岳まで
で足をのばしてみます。



費用 約 3000 円
申込先 中山一重

(68) 0353
打ち合せ日、その他
お知らせします。

大切 6月5日

6月16日 19.00 小

支那山行報告

支那山行(本部支那合同集甲山行)

刈寄山(六七八番)

参加者(二)なし

(元) 鎌木国之 関野昌

コースタイム

川崎(七・五〇)→立川(八・五七)→九三コ→五日市
(九・五五)→(八・〇七)→決戸橋(一・五〇)→(一・〇)→
林道終り(一・五五)→(一・五)→琴から離れる→
刈寄山(一・五)→(一・四・四五)→今慈山(五・三)→
今慈神社本殿(五・四五)→今慈バス停

(六・三)→(七・一九)→八王寺(ハ・〇)

立川の駅は行楽客とハイキングに行く人
でごったがえしていた。氷川行の電車は超満
員である。五日市行きも大分混んでいた。
駅前からバスに乗り、このバスも満員で、
ドア→を開けたまま走る。超満員のバスを

次戸橋で下りて身仕度をして歩く。少し
歩くと道は二分し左の道をとる。同じ道を
歩くのがつらさ登山者が歩いていく。

ほんとうは20分位歩いたところで刈寄山があるのだが、いつまで歩いても竜がなく林道もここまで、あとは次第に細い道がついていく。この道が刈寄山に行く道だろうかと心配になり地図を見たがまあくこの道で良いのになり。この道が刈寄山に行く道だろうかと心配になり地図を見たがまあくこの道で良いのになり。この道が刈寄山に行く道だろうかと心配になり地図を見たがまあくこの道で良いのになり。この道が刈寄山に行く道だろうかと心配になり地図を見たがまあくこの道で良いの。だから尾根に向って電光型につけられている。ここでスキ焼をおいしそうに食べている相模原支部に会う。挨拶をし電光型の道を行くと見晴しが良くなり上を見ると刈寄山の最後の急登で山頂に立つ。山頂からの展望は大岳、馬頭刈の奥多摩の山々が荔くぼんやり見えている。14時集合には時間が大分あり昼食を食べ風寢をする。14時になつても本部は上フマタ。他支部より先に山頂を去りがらくとなく20分位遅れて着く。15支部150人位集まつた。他支部より先に山頂を去りがらくと今慈山を通り神社を通る。この辺桜の木があり今慈山を通り神社を通る。この辺桜の木があるが咲いていない。咲いていたらさぞきれいであろう。

五月に誕生日を迎える人

久保田治 久保寺和代 村岡哲郎

おめでとうございます。

消息

5月8日 久保田治、酒井国栄、西氏か

御結婚なされました。おめでとうござ

ります。

会計報告(38年3月~)(39年3月)

・收入の部

前月繰越	3489.-
支部会費	4600.-
ワッペン代	500.-
臨時収入	1780.-
	<hr/>
	10,369.-

・支出の部

会場費	3010.-
支部報酬(ニューフ用費)	1180.-
通信費	1890.-
信真代	55.-
通写支部備品	330.-
雜費	560.-
	<hr/>
	6325.-

残高 10,369 - 6,325 = 4,044.-

上記の通り相違ありません

行事報告

4月14日 定例集会

出席者20名 婦人会館

出席者9名 小町

4月22日 準例会

4月28日 や90回山行打合せ

5月3日 や90回山行 鳳凰三山

行事予定

5月12日 定例集会

18時 婦人会館

5月27日 や91回山行打合せ

18時 川町

準例会

19時 小町

5月31日~6月1日

や91回山行

伊豆長九郎山

6月14~15日

や91回山行

尾瀬、金津駒ヶ岳

新入会員紹介

土溝田洋子

よろしくお願ひ致します。

ニュース

No 59

1964年9月 横浜支部(港北区青砥町609 小川方)
発行 SHC 編集 浅井俊明

第93回支部山行

ボツ力訓練(丹沢大倉尾根)

7月19日(前夜発)

係 小川龍利

前夜水無川にて露營、翌日大倉尾根でボツ力訓練をやります。
自分がどのくらいがんばれるかためしてみたいたい方はどうぞ御参
加下さい。尚、夏山合宿に参加される方は必ず参加して下さい。

打ち合わせ

7月16日 18時

横浜駅西口伝言板附近

第 94 回 支部 山 行

第 90 回 支部 山 行 報 告

鳳凰三山 (5月3日～5日)

夏山合宿 北ア表銀座縦走

参加者 (山) 小川龍利、斎藤 清

8月1日～4日 (3泊4日)

(P) 中里一久、関野 昌、鈴木国

係 小川龍利

コース

新宿 → 有明 → 中房温泉 →

燕山荘附近(泊) → 大天牛岳

→ 西岳 → 槍ヶ岳(泊) → 槍沢

小屋 → 横尾 → 上高地

(予備日 1日)

申込先 横浜市港北区青砥町 609 小川造

詳細は次号 ニュース ひおかねう

せ致します。

〆切リ 7月10日

打合せ やります。 18時 (ボクサク訓練と同じ)

露營地へ六五〇、青木湯へ七、四五、平川峠登
リロへ九、三五、九た、五〇、平川峠へ一〇、〇〇

穴山橋へ一〇、五〇、

一日目、最後の飛石とあつてか、新宿駅構
内はものすごい混雑。一一五発、臨時甲府行
き砂松岳の頂上をいじんこいがスで何とかえな
る様だ。甲府駅前より車をつらねて夜叉神峠
登り口まで良い気持でとばす。夜行の寝不足
も手伝つてか詠遊でかい分長く感じられた。

塞の河原にいる。正面に地蔵岳の岩峰が立つ
てゐる。縦走最後の山だ。急な道を鳳凰小屋
へ下る。左へ行く道は御座石湯へ。我々はド
ンドコ沢沿いの道を下る。五色、白糸、南精
神^と滝があり、なかでも南精神の滝は落差三
〇〇Mと云われ、これを下るのに時間がかかる
ところ。には残雪があり、やはリアルア
スだと思わせられる。南御室小屋前の平地に
はすでに多くの天幕があり、夕餉の仕度の煙
が立ち昇つてゐる。自分達も早速設営してタ
星ちみえない。天幕をたたみ砂松岳へ樹林帶
の中を行く。林がきれ雪渓がありそれを登る
と砂松岳の頂上をいじんこいがスで何とかえな
い。晴れていれば白峰三山がすばらしいのに。
観音岳をすぎ、赤坂沢の頭で昼食をすませ、
野呂川をへだてたむこうに白峰三山の銳峰が立つ
頂上付近をがスにつつまれていった。枝立峠か
ら草平までは傾斜のゆるい長い道のりだった。
リ、とうく青木鉱泉を行けば途中でキヤン
アすることになった。そばに滝があり少々う
るさかつた。

三日目、朝の山岳気象をきくと南ア方面は

午前中から降り出すという予報に急いで出発

する。青木湯はキャンプ地から一時間足らずの所にあつた。車の通る長い道を大武川に沿つてテクル。平川峠の登り口で車の道と別れまた山道に入り。平川峠に登りきつてしまふばかり山橋バス停までは一時間足らずの下りだつた。

6月に誕生日を迎える人

本田美智子、高山美恵子、吉岡信子

おめでとうございます。

定例集会

準例会

7月14日(火)

婦人会館にて
小町だんごにて

18時より

19時より

行事報告

5月12日

例会

出席者

名

婦人会館

27日

準例会出席者

名

小町

27日

91回山行打合せ

小町

5月31日・6月1日

91回山行伊豆長九郎

参加者

名

6月2日

委員会

小町

出席

8名

6月9日

例会

18時

婦人会館

予定

16日

双回山行打合せ

21・22日

92回山行会津駒ヶ岳

24日

準例会

7月14日

例会